

祝辞

法政大学中学校生徒会長

本田 拓

一日一日と暖かくなり始め、春の日差しが感じられる頃となりました。今日新たな一歩を踏み出す新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。少し大きめの制服に身を包み、中学校に登校した皆さんはいま期待や不安の気持ちでいっぱいだと思います。しかし、中学校では小学校より仲間が増え、たくさんの経験ができ、より充実した時間を過ごすことができます。

皆さんが入学したこの法政大学中学校は「自主自立」、つまり生徒一人一人の自主性を重んじた校風を持っています。しかしこれはたんなる自由という意味ではありません。自分自身と向き合い、自分の行動に責任をもつということが必要です。

これからは小学校の頃とは違い、部活動も始まり勉強もより難しくなります。そのなかで、自分で判断し行動しなければならないことも増えてきます。始めは失敗してしまうこともあるかもしれませんが、そんなときは、同じ学年の仲間、先輩達、先生方を頼ってください。必ず力になってくれます。

皆さんは「一念天に通ず」という言葉を知っているでしょうか。この言葉は「なにかを成し遂げようとする固い決意さえあれば、天に通じ必ず成し遂げることができる」という意味です。この先皆さんは、部活や委員会、様々な行事、新しい勉強など、新しいものに挑戦する機会が多くあります。それらを決して中途半端にせず、自分自身で、もしくは新しい仲間たちと協力し成し遂げていってください。

皆さんが悔いのない中学校生活を送り、大いに活躍されることを祈り、祝辞とさせていただきます。